



佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校
令和7年度学校だより
No.9 11月号
令和7年10月31日(金)

燦々照今よりよき今をともに創らん

創・り・つ・ぐ 佐野中 碧和祭!!

今年度の碧和祭・合唱コンクールが終わってほぼ十日が経ちました。右に掲載した写真は、10月17日(金)の放課後に撮影したものです。合唱コンクールの本番に向けて朝、昼、晩…、いや夕方と、各学級は練習に励んできました。帰りの会が終わって部活動に向かう生徒がちらほらと校庭に見受けられる時間帯です。いやがおうにも歌っている姿をだれ彼となく見られてしまうので、恥ずかしく感じるところもあったことでしょう。本番に向けての練習であっても、気持ちを入れて思い



碧和祭の翌週は、新人戦の県大会です。市、中央と各地区の大会を勝ち上がった部活動が大会会場に赴きますが、試合地が遠く移動時間もかかるため、7時前に出発する部活動も少なくありません。見送りのために普段よりも早い時間に学校へと向かえば、道路がとても空いていることにあらためて気づきます。何とも快適で、できることなら毎日この感覚を味わいたいと思います。朝は少しでもゆっくりと寝ていたいと思うところもあるかもしれませんが、早起きは得した気分になるものです。できることなら社会に

切り声を出すのには抵抗があったかもしれませんが、しかしながら、校舎本館の職員室までの距離はありながらも、その歌声は清々しく響いていました。こうした広々とした空間で歌う姿は、他の学級、他の学年へのよい見本であり、刺激となります。まさしく学校だからこそ見られる光景であり、心が和みます。本番でのより良い結果を求めてどの学級も練習に励みますが、当日までの過ごし方、経過は、より思い出深いものなのかもしれません。こういうシーンは、中々、写真として残ることは少ないかもしれないので、とても貴重な1枚です。まさしく、青春の1針(?)と言ってよいものかもしれません。

碧和祭・合唱コンクールの開催に向けて、実行委員のみなさんが中心になって、先生たちと力を合わせて準備・計画を進めてくれました。各学級での練習も本当によく取り組みました。ステージ発表のみなさんも、力強く、個性的な発表がとても印象に残りました。佐野中の生徒みんな(仲間)で創りあげたあの時間、空間は、「みんなで創った、みんなでやりきった、心を一つにした、思い出を紡ぐ」碧和祭となりました。佐野中のみなさんに感謝申し上げます。今から来年度の舞台を楽しみにしています。

出る前に、学生時代のうちに、朝早く、決まった時刻に起きる習慣を、確実に身につけておきたいものです。

県大会の会場ではたくさんの学校から応援に来ている姿を見かけますが、いくつもの会場で顔を合わせる方もいます。よく考えてみれば、佐野中もその学校の方も大規模校、お互いに層も厚く、また、それだけでなく、才能豊かな生徒も多いのではないかと思います。前期終業式直前の表彰時の様子を思い起こせば、何と賞状を読み上げて渡すのに、省略をしても三十分以上の時間を費やしたことを思い出します。仲間の活躍は、他の生徒一人ひとりにとっても励みになります。ぜひ、他の生徒のみなさんも、自分の好きなこと、得意な分野に打ち込んで、すくすく、ぐんぐんと自分の持ち前を伸ばしてほしいと思います。9月の末に始まった今年の新人戦も、来週11月7日の県駅伝大会をもって、今年度は一区切りです。

約8か月後に実施される総体は、まだまだ先のことと思えそうですが、気がついたときには、当日の朝になっています。気持ちを切り替えて、今一度、新たな思いと目標を胸に秘め、そして日々の生活を整えて、限られた時間の練習に向き合ってください。



生活の柱：時空人の「間」を照らす - 時「間」・空「間」・人「間」

Key Word：時空人の間を燦々と照らして よりよき今をともに創らん

今月号は、どの学年も合唱に関する記事が勢ぞろいしました。（3年生の記事は、当日に向けての想いを、担任の先生が書いたものです。）

1年6組

10月には、1年生にとって初めての碧和祭が開催されました。中学校生活初めての合唱コンクールを通して、どのクラスも団結が深まったように感じます。学校行事だけに限らず、日々の生活の中には交友関係を深める“瞬間”がたくさんあるはずです。これからも学校という場所での人との関わり合いの中で、多くのことを学び、互いに成長していけるみなさんの姿を期待しています。



2年6組

合唱コンクールに向けて生徒たちは主体的に練習を重ねることができました。結果として入賞は逃してしまいましたが、特に声をかけなくても、よりよい合唱を創り上げようと昼休みに当たり前全員で練習する彼らの姿勢に、たくさんの感動をもらいました。また、各パートリーダー、指揮者、伴奏者、学級紹介者を中心に具体的に意見を出し合い改善点などを話し合う姿がとても素晴らしく、日々団結力が高まっていく雰囲気を感じて近で感じられたことをとても嬉しく感じました。いつでも「和気藹々」な6組の雰囲気は、ちょっとした自慢でもあります。生徒たちの作文にも、「練習や改良を重ねる日々がすごく楽しかった」、「練習がないことを寂しく感じる」など、クラスのみんなど力を合わせて充実した練習に臨んだことが伝わる感想がたくさん書かれていました。学級目標である「オアシス」-一人ひとりが居心地のいい学級づくりをこれからもみんなで心掛け、残り5カ月の日々を大切に過ごしていきたいと思います。



3年6組 心を一つに響かせる合唱

10月22日に行われる合唱コンクールに向けて、3年6組はゆずの「友～旅立ちの時～」の練習に励んでいます。中学校生活最後の舞台にふさわしいこの曲には、「仲間との絆」や「新たな旅立ち」への思いが込められています。まず、合唱コンクールに向けたスローガンを「No Limit（私たちに制限はない。可能性は無限大）」を決め、これまで練習に取り組んできました。

放課後の教室からは、真剣な表情で練習に取り組む生徒たちの歌声が響き、日を追うごとにそのハーモニーは深みを増しています。最初は音がそろわず苦労していたパートも、互いに声を聴き合いながら少しずつ一体感を生み出していきました。本番では、3年間の成長と友情の証として、心を一つにした歌声が会場いっぱいに広がることでしょう。聴く人の心に温かな感動を届ける、そんな合唱になることを期待しています。

